



第2巻
第6号

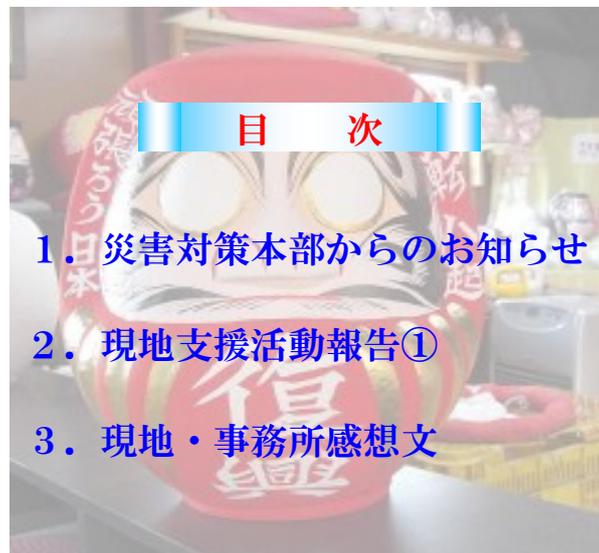
平成24年5月17日

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県高崎市のみさと芝桜公園



災害対策本部からのお知らせ

協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

<現地> 特に平日が不足しております。

<事務所> 平日のみの活動ですが、1~2ヶ月に1回でも構いません。

皆様のご協力をお願いいたします。

次回災害対策本部会議について

5月12日(土)に実施しました。次号に議事録を掲載させていただきます。

次回は6月2日(土)18:00~ 協会事務所にて開催します。

災害支援 SW 報告会について

「東日本大震災への支援活動についての説明会」

神奈川県医療社会事業協会 主催

6月から神奈川県医療社会事業協会より現地への派遣協力をいただけることになり、同協会における会員への説明会を兼ね、本協会の災害支援活動について災害対策本部よりご報告させていただきます。神奈川県医療社会事業協会・本協会の会員でなくても、災害支援活動に関心のある方なら誰でもご参加いただけます。

日 時：5月18日(金) 19:00~

場 所：県立神奈川近代文学館

申 込：不要

参加費：無料

※詳細はホームページをご覧ください。

URL: http://www.jaswhs.or.jp/touhoku/info_detail.php?@DB_ID@=26

研修情報

(1) 「被災地福島からの報告」

日時：5月20日(日) 10:00~11:30

場所：大阪府済生会千里病院 東館3階 講堂

(2) 「災害ソーシャルワーク研修Ⅰ」

日時：5月27日(日) 9:30~12:30

場所：高崎総合医療センター 2階 大会議室

※群馬県で行われる全国大会の翌日、同県内での開催です。

まだ若干名の参加が可能です。

※詳細はホームページをご覧ください。

URL: http://www.jaswhs.or.jp/touhoku/info.php?@Page_Status@=none

全国大会のご案内

群馬で開催の全国大会がいよいよ来週に迫ってまいりました。

以下、災害関連の企画を予定していますのでご期待下さい。

- ・ 5月25日(金) 15:00~18:00 シンポジウム

「東日本大震災における医療ソーシャルワークを検証する」

岩手・宮城・福島各県から、保健医療福祉分野で活躍されている方々と医療ソーシャルワーカーをシンポジストに迎え、大災害時における保健医療福祉の連携の課題を討論します。

- ・ 5月26日(土) 9:00~12:30 分科会

第5分科会【教育・スーパービジョン・災害ソーシャルワークII】にて現地支援活動と事務所支援活動について3演題発表します。

- ・ パネル展示 昨年度1年間の活動を報告予定です。
- ・ 書籍販売 発災~2011年9月30日の活動記録集

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』

を販売予定です。どうぞご期待下さい！

現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい

(1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・ 就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・ 就業時間：9~17時
- ・ 休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・ 基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給
- ・ 社会保険加入
- ・ 医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・ 長期の方優遇

(2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・ 就業場所：協会事務局内
- ・ 就業時間：週4日程度 10~17時
- ・ 休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・ 時給 900円~ 通勤費は実費支給
- ・ 経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

Facebookでも情報をお伝えしています！



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。

応援よろしくお願いたします。

-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

現地支援活動報告①

加藤 淳（東京都 南町田病院）

期間：5月2日～5月5日

日本協会の現地派遣に参加させて頂くのは、昨年9月の遊学館、12月末に引き続き、今回で3回目となります。

2日半という短い活動期間でしたが、継続して関わりたかったことと、前回から5カ月が経ち、石巻での活動状況の変化を自分の身でどうしても感じたいと思い、参加させて頂きました。

事務所に着いてまず感じたのは、マニュアル関係がより充実していたことでした。この数カ月間における協力員の方々、現地担当者のご尽力に感謝致します。

今回は、在宅避難者へのフォロー電話や、仮設住宅を回って「MSWをご存じですか」のチラシのポスティングなどを行いました。それ以外には、石巻駅前のからころステーションや、石巻立町復興ふれあい商店街（石巻市街地初の仮設店舗）を訪れました。

初日は生憎の豪雨でしたが、2日目は晴れて、市内のあらゆる場所で大きな鯉のぼりが泳いでいたのが印象的でした。石巻駅付近も、前回参加した時より道が整備され、商店街の建物も修復が進んでいました。北上川中瀬に位置する石ノ森萬画館も、年内再開を目指し、来月から修繕工事に入る目処がたったとのこと。訪石する毎に、街の「復興」が少しずつ進んでいるようにも感じました。

しかし、多くの被災者の方々が仮設住宅で過ごされています。住民同士のコミュニティ形成も地域によって差があります。フォロー電話を行った際、電話先では「(気持ち的に)おかげ様で一段落しました」と仰る一方で、国や自治体の施策などにより、長期的な生活設計の困難さを言葉の端々から感じました。

私自身、全てを把握しきれていないわけではないので、あまり的確な意見は言えませんが、今後も政府や自治体の施策や、時間の経過や季節の変わり目による精神面・身体面の変化、経済的状況などにより、被災された方々の状況は常に変化してゆくと考えられます。よって、今後もソーシャルワーカーによる長期的な継続的支援が必要となります。

近々在宅避難者への2次調査が始まるとのことです。そうすると、より多くのSW支援が必要になると予想されます。

今後も、時間を見つけつつ、参加させて頂きます。

現地では協力員が足りない状況です。多くのソーシャルワーカーが一度は被災地に出向き、現地の状況を感じ取って頂きたいと願っております。

最期に、一原様を始め、災害対策本部の方々にはお手数をおかけしました。武山様、依光様、立川様、石巻では大変お世話になりました。おいしくて健康的な手料理、有難うございました。今後ともよろしくお願い致します。



石ノ森萬画館



石巻立町復興ふれあい商店街

現地感想文

5月7日（月）

昨日が嘘のように素晴らしいお天気の日、夕方事務所に帰るのがもったいないくらいでしたが、事務仕事もいっぱい残っているので、八重桜の北上運河堤を横目に帰りました。

新しい中里サポートセンターの事務所は、3人定員のかわいいお部屋ですが、静かで電話の効率も良さそうです。電話代が気になっていたのも、早く移りたいと思います。パソコン2台を持参することになります。

5月8日（火）

もうすぐ第二期の調査フォローが始まります。

気を引き締めていきたいと思います。

5月9日（水）

石巻は穏やかな一日でしたが…各地は荒れ模様とか！

今日午後は、恵みの団地訪問と事務仕事に分担ができ効率よく動けました。たくさん打ち合わせがあるので、食事中も休憩中も仕事のことを話しています。静かなのはパソコンに向かっている時。つい、遅くまでキーボードを叩いて起きていて、朝はラジオ体操時間にやっと起きます。みなさんも、「おらほのラジオ体操」検索して、見て、聞いて、やって下さい。目が覚めますよ！

5月10日（木）

中里サポートセンター、SWに振り当てられた小部屋にPC3台・資料を運び込んでセッティング。その後さっそく会議が2件。これから毎日、多くの他専門職やエキスパート、ボランティアの方々とともに作業を進めることになります。身の引き締まる思いです。

事務所感想文

5月10日（木）

三輪（事務所担当）

今日は初めて来ました。現地との連絡の取り合いなど責任が重いな～と感じました。まだまだ不安ですが、頑張ります。マニュアルが分かりやすくてびっくりしました。

一原（事務所担当）

事務所のパート職員の後任として、この度、三輪清子さんが入って下さいました。これから事務所を引張って行って下さる頼もしい方です。

5月11日（金）

富永（大倉山記念病院）

久しぶりの事務所ボランティアに来ました。なんと！3名体制。片付けをしたりと余裕のある1日でした。また来ます。